

# 日米4人の兵士の証言・日記による悲惨なサイパン島戦の真実

## サイパン島陥落

コンサルタントが警告する現代にも残る負けるべくして負けた

21の敗因とその対策の提言

### 目次

はじめに

第1章 太平洋戦争とは何だったのか 4

1 明治維新以降、明治・大正時代の日本の戦争 10

日清戦争・日露戦争・第1次世界大戦 13

2 昭和時代の太平洋戦争開戦前の経過 15

3 太平洋戦争開戦までの国策の決定の経過 17

4 太平洋戦争の戦線拡大の経過 20

5 終戦への経過 24

第2章 1943年米国軍の北上、タラワの戦い 24

米国海兵隊員 Richard Meadows の証言

第3章 1944年6月までのサイパン島 33

市川源吉のサイパンでの日記 34

岡崎輝城さんの証言 66

井手口義雄さんの証言 67

第4章 米国軍上陸作戦開始からサイパン陥落まで 71

日米3人の兵士の証言から見るサイパン陥落までの経過 72

1 15日米軍上陸 72

2 16日未明の日本軍の反撃 74

3 16日の米軍の攻撃 77

4 井桁敬治少将の兵力の再配置 79

5 ヒナシス丘とアスリート飛行場の攻防 80

6 マリアナ沖海戦の敗北と米軍の展開 82

7 タップーチヨ山陥落 87

8 日本側の作戦会議、日本の4将軍の自決と玉砕攻撃の決定 88

9 米軍の勝利宣言と東条内閣の敗北宣言 95

サイパン島陥落の後の日米の兵士達の証言 98

☆岡崎輝城、米軍の捕虜となり2年半の收容所生活 98

☆歴史家の Douglas Westfall の解説、Beag の 100

☆井手口義雄、ジャングルに1年8ヶ月潜伏 102

☆Richard Meadows の証言、沖繩へ 106

☆歴史家の Douglas Westfall の解説、ヤルタ会談、原子爆弾、終戦 107

☆岡崎輝城の証言 108

☆井手口義雄の証言、投降 110

☆Richard Meadows の証言、長崎へ 110

第6章 現在も残る負けるべくして負けた21の敗因と今後同じ過ちを繰り返さないための提言

1 長期的な国の方針・戦略がなくその場限りの場当たり的な対応 112

2 明治維新後の体制の設計不良、運用の間違いと不適格人材 113

3 日清・日露・第1次世界・戦争勝利の過信、勝因の分析不足 114

4 経済不況と政治・政府不信 114

5 長期ビジョンを持つ強い指導者・リーダーの不在 115

6 情報戦で敗れる、情報分析の不足 116

7 外交力不足 116

8 空気が(故山本七平氏が提唱)に弱い、マスコミの責任が重大 117

9 国・組織内部ベクトルの向きが揃っていない 117

10 米国の国力・民意の読み違い 118

11 ソ連の国情に対する無知 118

12 終戦のやり方を考えずに開戦した 119

13 動き出したらやめられない 120

14 ロジスティックスを考えない 120

15 精神論に頼りすぎる、竹槍で機関銃とは戦えない 120

16 技術力・工業力で米国に負けた 120

17 陸軍と海軍・外務省と陸海軍で情報を共有しなかった 121

2 チャンネル外交 121

18 現地からの情報の軽視と長期的計画なしの決定 122

19 全員一致・本音の議論なしの先例を重んじる 122

20 人命軽視(他人・自分)と降伏しない戦争 123

21 欧米人の異文化・異人種に対する偏見・差別を見落とした 124

おわりに 126



写真または

